

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>日本植物学会第81回大会（2017年9月8日-10日、千葉県野田市東京理科大学野田キャンパス）</p>
<p>演題名</p>	<p>明暗周期培養下における微細藻類<i>Euglena gracilis</i>のカロテノイド合成の解析</p>
<p>発表者</p>	<p>丹野夕麗※[1]、<u>加藤翔太</u>★[2]、朝比奈雅志[1],[2]、高橋宣治[1],[2]、高市真一[3]、石川孝博[4]、篠村知子[1],[2]（[1]帝京大・院・理工、[2]帝京大・理工・バイオ、[3]東京農大・生命科学、[4]島根大・生物資源、★印は帝京大の博士研究員）</p>
<p>内容</p>	<p>微細藻類<i>Euglena gracilis</i>（以降<i>Euglena</i>）の強光による光阻害回避メカニズムとしてカロテノイドの機能に注目した研究を行い、本発表では光を明暗周期条件（12L/12D）で照射して<i>Euglena</i>を培養した場合に、相対カロテノイド含量やクロロフィル量がどのような変動を示すのかを調べることでカロテノイド合成の光制御をより詳細に明らかにすることを旨とする研究成果を報告しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C 17K07945)の支援を受け、H29年度の本研究室の卒研究生や学内外の研究者と共同で行いました。</p>
<p>関連画像</p>	